

許されない！ 民主党が国旗を切りはり！



今月8日に、鹿児島県内で開催された民主党の集会では、2枚の国旗を切り刻んで民主党マークとしていたことが判明。

そういうことをする人がいる 民主党に国政は任せられない！

このパンフレットは、政党の自由な政治活動であって、選挙期間中でも自由に配布できます。

民主党の 甘い政策の罠。

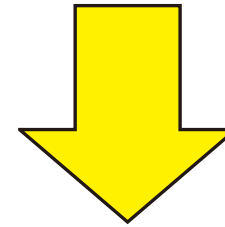
日本を守る、責任力。

自民党

民主党政権になると あなたの家の家計は・・・

- 年金の一元化・・・国民年金保険料が14,660円から50,000円(月額)に
＜年収400万円の農業者、商店、自営業者の場合＞
- 子ども手当・・・児童手当の廃止
配偶者控除と扶養控除の廃止
- 補正予算の凍結・・・回復基調になった景気が再び不況へ
- CO₂削減25%の家計負担分・・・▲360,000円(年額)
- 長寿医療制度の廃止・・・75%の世帯で保険料がアップに

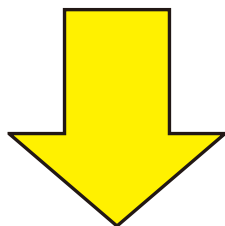
民主党の 年金の一元化で、



**自営業者の保険料が大幅
(5万円以上) アップ。**

民主党は年金を一元化して自営業者や農業者にも収入の15%の保険料をかけると言っています。事業所得税を納めている自営業者の平均年収である約400万円の場合、保険料は月額1万4660円から5万円に大幅アップしてしまいます。

**民主党の
子ども手当の創設で、**

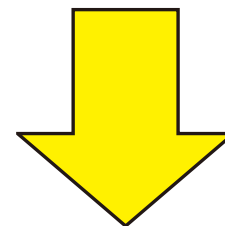


**子供のいない世帯は、
必ず増税になる。**

配偶者控除・扶養控除や児童手当が廃止されるため、民主党の言うほどの収入増はありません。子供のいない場合、また子供がいても高校生以上の場合、専業主婦世帯では明らかに増税になります。

民主党は、これまで4回にわたり児童手当の拡充に反対してきた事実があり、その政策に大きな矛盾があります。

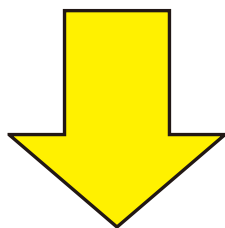
**民主党の
補正予算の凍結で、**



**景気が急降下し、
大不況になる。**

GDPも4～6月期は年率3.7%増と回復基調に転じ、対策の手を緩めてはならないこの時に、補正予算を凍結すれば、景気に悪影響を及ぼすことは必至。成長率は鈍化するどころか、いきなりマイナスに落ち込み、企業の倒産、失業者の増大は確実です。地方の公共事業も大混乱し、景気回復の流れがストップしてしまいます。

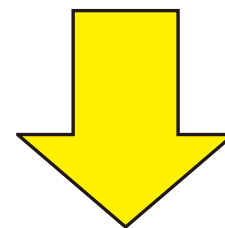
**民主党の
CO₂の削減目標25%で、**



**家計の年間負担額が
36万円になる。**

温室効果ガスの削減目標を25%減（1990年比）が実施されれば、暮らしや経済を直撃します。実質GDPは3.2%下がり、失業率は1.3%悪化、77万人の失業者が出ます。中小企業も多数倒産。一方で、家計の年間負担額は、36万円増加。すべての住宅に太陽光発電の義務付けや次世代自動車以外の購入禁止など、暮らしに大きな負担が強いられます。

**民主党の
長寿医療制度の廃止で、**



**75%の世帯の保険料が
アップする。**

長寿医療制度をただ廃止するだけでは、75%の世帯の保険料がアップし、地域間格差も2倍から5倍に逆戻り。廃止したまま放置すれば、国民健康保険が破たんし危機に。現役世代にも大きな影響があります。